

校種・教科名・科目名(単位数)・実施学年			普通科・保健(1単位)・2学年	
【学習到達目標】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育てる。				
学	月	単	項目・単元	学習目標・学習内容
1 学 期	4 月 5 月 7 月	生 涯 を 通 じ る 健 康	オリエンテーション	保健の授業のねらいや流れ、評価について周知する。
			①思春期と健康	①思春期における心身の発達や性的成熟について理解する。思春期に起こりやすい健康課題について理解する。
			②性意識の変化と性行動の選択	②自分の行動への責任感や異性の理解と尊重の必要性について理解し性行動の選択には性情報への対処が必要性を理解する。
			③結婚生活と健康	③結婚生活と健康との関係について理解する。結婚生活における夫婦関係、親子関係による健康への影響について理解する。
			④妊娠・出産と健康	④受精、妊娠、出産の過程とそれに伴う健康課題について理解する。妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解する。
			⑤家族計画	⑤家族計画の意義について理解する。人工妊娠中絶が心身へ与える影響について理解する。
			⑥加齢と健康	⑥加齢による心身の変化や、高齢期の健康課題について理解する。若年期の生活習慣が中高年期の健康に影響することを理解する。
			⑦高齢社会に対応した取り組み	⑦高齢社会における健康課題について理解する。高齢者の暮らしや健康を支えるために必要な社会の取り組みについて理解する。
<b>【1学期期末考査】</b>				
2 学 期	9 月 1 2 月	健 康 を 支 え る 環 境 づ く り	⑧働くことと健康	⑧働くことの意義と働き方の多様化について理解する。働く人における健康問題について理解する。
			⑨労働災害の防止	⑨労働環境の変化に伴い、労働災害の要因も変化していることを理解する。労働災害を防止するための様々な取り組みについて理解する。
			⑩働く人の健康づくり	⑩職場での心身両面にわたる積極的な健康づくり活動について理解し働く人の健康には余暇の活用等生活の質の向上も重要であることを理解する。
			⑪大気汚染と健康	⑪大気汚染による健康への影響について理解する。地球規模で起きている大気環境の問題について理解する。
			⑫水質汚濁・土壌汚染と健康	⑫水質汚濁による健康への影響について理解する。土壌汚染による健康への影響について理解する。
			⑬健康被害を防ぐための環境対策	⑬環境汚染による健康への影響を防ぐために行われている対策について理解する。産業廃棄物の処理や新たな環境汚染の課題について理解する。
			⑭環境衛生に関わる活動	⑭安全な水の確保のために必要な上下水道の整備の現状と課題を理解する。生活環境を保全するごみ処理の現状と今後の課題について理解する。
			⑮食品の安全性と健康	⑮食品の安全性が損なわれると健康被害が生じる可能性があることを理解する。人々の健康を支える食品の安全性の確保が重要であることを理解する。
			⑯食品の安全性を確保する取り組み	⑯食品の安全性を確保するための行政や生産・製造者の役割を理解する。食品による健康被害を防ぐために私たち消費者が果たす役割を理解する。
			⑰保健制度とその活用	⑰保健行政の役割について理解する。健康の保持・増進には保健サービスの適切な活用が必要であることを理解する。
<b>【2学期期末考査】</b>				

3 学 期	1 月 ～ 3 月	健康を支える環境づくり	⑱医療制度とその活用 ⑲医薬品の制度とその活用 ⑳様々な保健活動や対策 ㉑誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり <b>【3学期期末考査】</b>	⑱医療保険の仕組みについて理解する。医療サービスの適切な活用方法について理解する。 ⑲医薬品には承認制度や販売に関する規制が設けられていることについて理解する。医薬品は、使用法に関する注意を守り、正しく使う必要があることを理解する。 ⑳日本や世界では健康課題に対応した保健活動や対策が行われていることを理解する。国際機関や民間機関などにより行われている様々な保健活動や対策について理解する。 ㉑自他の健康の保持・増進には健康を支える環境づくりが重要であることを理解する。健康を支える環境づくりへの積極的な参加が自他の健康につながることを理解する。
-------------	-----------------------	-------------	---	--

評価の観点・方法

- ・日頃の授業態度（関心・意欲・態度）
- ・提出物（ノート等）
- ・各学期における期末考査